

# 意商（V3）システム刷新プロジェクトについて

---

2023年6月1日

意商（V3）システム刷新プロジェクト



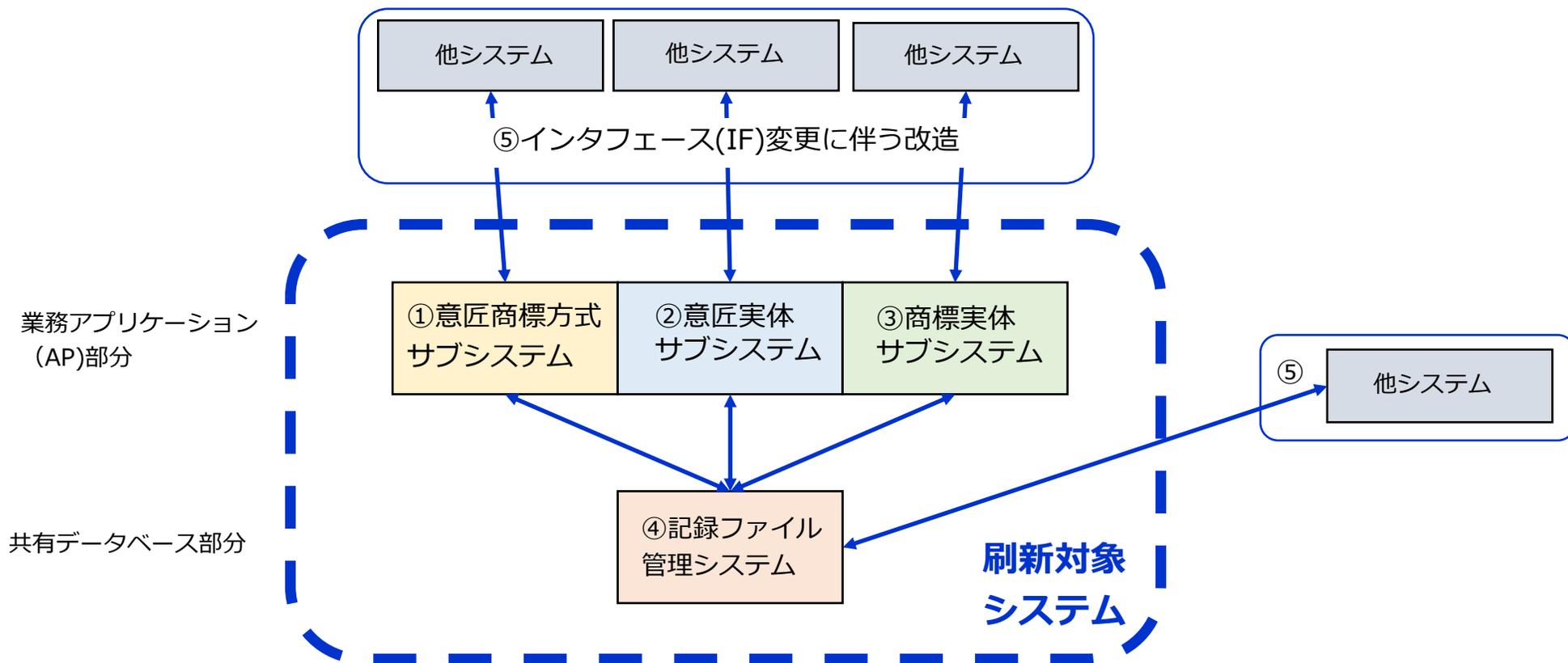
1

V3刷新プロジェクトの概況

2

開発前準備の結果について

## 1.1 V3刷新プロジェクトの概況（V3システムについて）



- ①意匠商標方式サブシステム：意匠・商標の方式審査を行う。
- ②意匠実体サブシステム：意匠の実体審査を行う。
- ③商標実体サブシステム：商標の実体審査を行う。
- ④記録ファイル管理システム：①～③が用いる共有データを保持する。
- ⑤他システム：①～④とインタフェース(IF)を持つシステム。

## 1.2 V3刷新プロジェクトの概況

- 業務AP：3月末まで開発前準備を実施。4月に要件確定を実施し、5月から基本設計を実施中。
- 共有DB：3月末で標準IFの開発が完了。2024年度よりカスタムIFの開発を実施予定。
- ハードウェア(HW)：HW調達に向けて5月から設備条件整理を実施中。

V3刷新の開発スケジュール

年度	2022					2023												2024												2025												2026								
月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
業務AP	開発前準備					要件確定	基本設計						詳細設計						製造・単体テスト						結合テスト						総合・受入テスト・移行																			
共有DB	標準IFの設計・製造・テスト																	V3業務AP向けのカスタムIFの設計・製造・テスト (予定)																																
HW						設備条件整理						HW調達 (予定)						環境設計・環境構築・HW試験 (予定)																																

## 2.1 プロジェクトの特性と方針

### プロジェクト特性

- 大規模システム開発プロジェクト
- 現行システムのHWサポート期限を踏まえたサービス開始時期の厳守が必要
- V1V2刷新で実績のある開発、管理プロセスおよび反映すべき教訓が存在



### プロジェクト方針

プロジェクト実施計画書に以下のプロジェクト方針に対応する各種取組を記載すると共に、開発前準備期間中にプロジェクト方針に沿った準備を実施

- a. 迅速な課題解決
- b. 進捗管理の徹底
- c. 手戻り防止の徹底
- d. V1V2刷新の教訓活用

## 2.2 開発前準備の対応項目

2023年4月からの本開発のスムーズな立ち上がりを目的に、開発前準備期間（2022.11～2023.3）に以下の対応を実施。

### <対応項目>

- （1）プロジェクト実施計画書の合意
- （2）開発スケジュールの合意
- （3）設計書様式の合意
- （4）要件や仕様の詳細について明確化